



2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月14日

上場会社名 あいホールディングス株式会社
 コード番号 3076 URL <http://www.aiholdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 佐々木 秀吉
 (氏名) 吉田 周二
 TEL 03-3249-6335

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の連結業績(2019年7月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	33,694	△14.9	6,616	1.1	6,833	3.5	4,657	△9.0
2019年6月期第3四半期	39,599	△7.4	6,543	△7.8	6,604	△9.2	5,116	3.9

(注)包括利益 2020年6月期第3四半期 4,499百万円 (△11.1%) 2019年6月期第3四半期 5,062百万円 (1.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	98.35	—
2019年6月期第3四半期	108.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期第3四半期	62,402	49,517	79.3	1,045.60
2019年6月期	59,815	46,958	78.4	991.55

(参考)自己資本 2020年6月期第3四半期 49,464百万円 2019年6月期 46,914百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年6月期	—	22.00	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	—	—	23.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	△17.7	7,500	△10.8	7,700	△10.9	5,400	0.2	114.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2020年5月14日)に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年6月期3Q	56,590,410 株	2019年6月期	56,590,410 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2020年6月期3Q	9,232,185 株	2019年6月期	9,231,672 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年6月期3Q	47,358,501 株	2019年6月期3Q	47,359,374 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2019年10月の消費税増税の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済活動の停滞により全体ではマイナス傾向で推移いたしました。海外においても、新型コロナウイルス感染症が世界中で拡大する中、緊急事態宣言が多くの国で発令され、経済活動が急激に縮小する状況となりました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては環境変化に機動的に即応し、効率性や採算性を考慮した社内体制の強化・整備を図り、利益重視の経営を推進いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は336億9千4百万円（前年同四半期比14.9%減）となり、営業利益は66億1千6百万円（前年同四半期比1.1%増）、経常利益は68億3千3百万円（前年同四半期比3.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は46億5千7百万円（前年同四半期比9.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

① セキュリティ機器

セキュリティ機器につきましては、マンション向けの自社更新及び一般法人向けが引き続き堅調であったことにより、売上高は99億6百万円（前年同四半期比2.4%増）、セグメント利益は41億8千3百万円（前年同四半期比3.4%増）となりました。

② カード機器及びその他事務用機器

カード機器及びその他事務用機器につきましては、鉄骨業界向けの専用CADソフト販売が引き続き堅調でありましたが、NBS Technologies Inc.傘下の非中核事業（半導体関連事業）であるNBS Technologies SASを売却したことにより売上高が9億2千5百万円減少し、売上高は38億4千2百万円（前年同四半期比19.3%減）、セグメント利益は7億5千万円（前年同四半期比19.8%増）となりました。

③ 情報機器

情報機器につきましては、国内外における新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う販売の伸び悩みにより、売上高は112億2千4百万円（前年同四半期比6.9%減）、セグメント利益は10億8千8百万円（前年同四半期比10.8%減）となりました。

④ 計測機器及び環境試験装置

計測機器及び環境試験装置につきましては、計測機器の販売の伸び悩みにより、売上高は13億3百万円（前年同四半期比18.1%減）、セグメント利益は1億1千1百万円（前年同四半期比24.3%減）となりました。

⑤ 設計事業

設計事業につきましては、公的部門を主とした案件受注が堅調に推移したこともあり、売上高は37億4千1百万円（前年同四半期比5.4%増）、セグメント利益は3億6千万円（前年同四半期比0.7%増）となりました。

なお、第1四半期連結累計期間から、「リース及び割賦事業」について量的な重要性が乏しくなったため、報告セグメントから「その他」として記載する方法に変更しております。詳細については「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」の「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」の「II 当第3四半期連結累計期間 2. 報告セグメントの変更に関する情報」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して25億8千7百万円増加し、624億2百万円となりました。主な要因は、流動資産の商品及び製品16億7千6百万円増加、受取手形及び売掛金7億8千6百万円増加、リース投資資産5億5千6百万円減少、投資その他の資産の投資有価証券4億3千4百万円増加等であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末と比較して2千7百万円増加し、128億8千4百万円となりました。主な要因は、流動負債の未払金3億5千6百万円増加等であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して25億5千9百万円増加し、495億1千7百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益46億5千7百万円の計上、配当金10億4千1百万円の支払等であります。この結果、自己資本比率は79.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、最近の業績動向及び新型コロナウイルス感染症拡大による影響を踏まえ、2019年8月19日に公表した業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2020年5月14日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,318	23,163
受取手形及び売掛金	7,510	8,296
リース投資資産	1,322	765
商品及び製品	4,123	5,800
仕掛品	401	256
未成工事支出金	219	158
原材料及び貯蔵品	938	963
その他	1,212	1,726
貸倒引当金	△39	△22
流動資産合計	39,006	41,106
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,827	1,792
土地	6,081	6,052
その他(純額)	1,670	1,773
有形固定資産合計	9,578	9,619
無形固定資産		
のれん	2,659	2,456
その他	336	433
無形固定資産合計	2,995	2,889
投資その他の資産		
投資有価証券	1,977	2,412
関係会社株式	4,308	4,274
その他	2,029	2,180
貸倒引当金	△80	△80
投資その他の資産合計	8,234	8,786
固定資産合計	20,809	21,295
資産合計	59,815	62,402

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,529	3,614
リース債務	940	486
未払法人税等	1,116	899
賞与引当金	163	456
製品保証引当金	0	—
受注損失引当金	8	2
その他	2,562	2,608
流動負債合計	8,321	8,067
固定負債		
リース債務	1,054	1,134
退職給付に係る負債	1,282	1,401
資産除去債務	12	11
その他	2,184	2,270
固定負債合計	4,535	4,817
負債合計	12,856	12,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	9,029	9,029
利益剰余金	38,048	40,766
自己株式	△4,702	△4,703
株主資本合計	47,375	50,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166	216
為替換算調整勘定	△645	△792
退職給付に係る調整累計額	18	△52
その他の包括利益累計額合計	△461	△628
非支配株主持分	44	53
純資産合計	46,958	49,517
負債純資産合計	59,815	62,402

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
売上高	39,599	33,694
売上原価	23,266	17,589
売上総利益	16,332	16,104
販売費及び一般管理費		
役員報酬	282	260
給料及び手当	3,119	2,981
賞与	426	455
賞与引当金繰入額	355	292
退職給付費用	150	159
その他	5,455	5,338
販売費及び一般管理費合計	9,789	9,488
営業利益	6,543	6,616
営業外収益		
受取利息	3	10
受取配当金	0	—
持分法による投資利益	98	182
為替差益	—	16
その他	19	30
営業外収益合計	121	239
営業外費用		
支払利息	4	3
為替差損	33	—
貸倒引当金繰入額	0	—
支払手数料	11	5
その他	11	12
営業外費用合計	60	22
経常利益	6,604	6,833
特別利益		
固定資産売却益	0	0
子会社株式売却益	—	32
子会社株式精算益	—	4
段階取得に係る差益	594	—
その他	—	0
特別利益合計	594	37
特別損失		
固定資産除却損	12	12
固定資産売却損	0	—
関係会社株式売却損	41	55
事務所移転費用	41	—
事業構造改善費用	—	15
損害賠償金	—	10
災害による損失	—	10
その他	6	—
特別損失合計	102	104
税金等調整前四半期純利益	7,096	6,766
法人税、住民税及び事業税	2,125	2,070
法人税等調整額	△150	28
法人税等合計	1,974	2,099
四半期純利益	5,122	4,667
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,116	4,657

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	5,122	4,667
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	32
為替換算調整勘定	25	△108
退職給付に係る調整額	6	△71
持分法適用会社に対する持分相当額	△78	△19
その他の包括利益合計	△60	△167
四半期包括利益	5,062	4,499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,056	4,490
非支配株主に係る四半期包括利益	5	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありましたNBS Technologies SAS及び中央設計株式会社の株式を全て売却したことに伴い、連結の範囲から除外しております。

また、第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありましたアドバンスフードテック株式会社は、連結子会社であるグラフテック株式会社を吸収合併存続会社とする吸収合併を行ったため、連結の範囲から除外しております。

また、第2四半期連結会計期間において、連結子会社でありましたGraphtec Digital Solutions Inc. の清算が結了したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

なお、変更後の連結子会社の数は25社であります。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリテ ィ機器	カード機器 及びその他 事務用機器	情報機器	計測機器及 び環境試験 装置	設計事業	計			
売上高									
外部顧客へ の売上高	9,670	4,760	12,051	1,591	3,551	31,625	7,973	1	39,599
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	35	92	48	—	4	181	102	△283	—
計	9,705	4,852	12,100	1,591	3,555	31,806	8,075	△282	39,599
セグメント 利益又は損失 (△)	4,047	627	1,220	147	358	6,401	101	39	6,543

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダ及び自動おしぼり製造機の製造・販売、保守サービスの提供、並びに、ソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額39百万円には、セグメント間取引消去△12百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益52百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリテ ィ機器	カード機器 及びその他 事務用機器	情報機器	計測機器及 び環境試験 装置	設計事業	計			
売上高									
外部顧客へ の売上高	9,906	3,842	11,224	1,303	3,741	30,018	3,675	—	33,694
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	71	449	40	—	1	562	147	△709	—
計	9,978	4,291	11,264	1,303	3,742	30,581	3,823	△709	33,694
セグメント 利益又は損失 (△)	4,183	750	1,088	111	360	6,496	19	100	6,616

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダー及び自動おしぼり製造機の製造・販売、保守サービスの提供、並びに、ソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額100百万円には、セグメント間取引消去△6百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益106百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する情報

第1四半期連結会計期間から、「リース及び割賦事業」について量的な重要性が乏しくなったため、報告セグメントから「その他」として記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。